



# きくがわ 社協だより

No.96  
2013年  
2月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に  
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

## 広げよう 地域福祉活動



西富田ふれあいサロン

菊川市内各地域において、さまざまな福祉活動が実施されています。誰もが安心していきいき暮らせるためには、地域での支え合い助け合いが必要です。地域のニーズに合った福祉活動が今後ますます展開されるよう、地域のみなさんや各団体、関係者など、多くの方たちと連携し協働していきましょう。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会  
〒439-0019 静岡県菊川市半済1865 (プラザけやき内)

☎〈0537〉35-3724 Fax〈0537〉35-3202  
Eメール [info@kiku-syakyou.or.jp](mailto:info@kiku-syakyou.or.jp)

# 「菊川市の目指す地域福祉活動 菊川市地域福祉推進会議から」

菊川市社会福祉協議会は、菊川市地域福祉推進会議を設置し、地域福祉の推進と市民福祉教育にかかわる事業（ボランティア活動推進、地区社会福祉協議会育成など）について協議と実施をしています。

第5回会議の内容をとおして、地域福祉への関心を深めていただければ幸いです。

## 地域福祉推進のこれまでの取り組み

菊川市社会福祉協議会が地域福祉の推進を図ってきた一つの取り組みは、地域福祉の担い手の育成です。

その経過としては、平成19年度に静岡県社会福祉協議会主催の「小地域福祉リーダー養成講座」を当市を会場に全6日間の日程で開催しました。

永井久男委員

をスタートさせました。

また、本会として小地域福祉活動を推進するために、市内11地区の地区センター（コミュニティセンター）を拠点と位置付け、活動を進めることとしました。

それと同時に本会としても職員の地区担当制を導入し、各地区ごとに「地域サポーター」と一緒に地域の生活課題を発掘し、ふれあいいきいきサロンの立ち上げ等の運営と実践を積んできました。

平成24年3月31日現在、地域サポーターは市内で約200名となり11地区で様々な活動が実践されています。

今後「地域サポーター」の活動を地域に根付いた活動としていくことが求められ、本会としては平成24年度より「地域福祉推進基礎組織※育成モデル事業」を開始しました。

これは、「コミュニティ協議会」において地域福祉を



鈴木 勉委員

担う部会等の組織を設置し、地域に根差したきめ細かい福祉活動を推進します。」ということ。平成23年度に菊川市が策定した「第2次 菊川市地域福祉計画」において謳われた内容を推進することも目的としております。

平成24年度は、「小笠東地区」「加茂地区」「町部地区」の3地区をモデル地区としました。

そして、同じく平成24年度に「菊川市地域福祉推進会議」を設置し、「地域福祉推進基礎組織モデル事業」のモデル地区の取り組みや当市の地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の在り方についての協議をしてきました。

全5回の協議の結果、今後の菊川市における地域福祉推進についての方針がまとまりましたので御報告します。

※地域福祉推進基礎組織：それぞれの地域における住民の福祉活動を推進する基礎となる組織

## 菊川市地域福祉推進会議の検討結果および具体的提言

（1） 地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）とは

地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）は、地域生活の中で自分たちにとって大切なテーマに気づき、それを取り上げて共有していき、そこから活動を作って継続的に取り組んでいきます。

そのテーマについて、関係諸団体が協力し合って取り組んでいく。つまり協働することが地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）に求められます。

そのテーマはあれもこれもというのではなく、一つ一つの地域課題を大切に拾っていくことが大切です。

組織を強めていきたい、人数



磯 雅夫委員

を増やしたいということよりも、自分たちがこの地区に住み続けたい、自分たちの手作りの取り組みが継続的に楽しんで行えることを大切にすることが必要となります。

（2） 地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）と他団体等との関係について

地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の活動は、自治会関係者や民生委員児童委員等の理解を得て進めていくことが求められます。

地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の活動目的を達成していくためには、そのプロセスの中で関係団体や関係機関との連携や調整が必要です。地域の中で、色々な団体がそれぞれの立場で活動していますが、現状個々の活動になっていくことで連携を深めながら取り組むことで活動の幅は広がります。

地域の中でお互いの活動を認め合ったり、理解し合うことが必要です。

そのため、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）がコミュニティ協議会の一つの部会として位置づけられることで、他の団体との繋がりができ、活動の広がりが期待できます。

（3） 地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の組織づくりの考え方について

地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）は、新しい「地域型ボランティア」であり、地域の中の個々の課題に気づき、その課題に対する取り組みを作っていく活動をする組織です。

その時、自治会関係者や民生委員児童委員の協力があることが活動の大きな力になっていきます。

地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の中で情報交換をするなどしながら、地域課題（ニーズ）を掘り起していく必要があります。そうすることにより関係団体や関係機関それぞれの活動をお互いに認め合いながら、その活動が必要とする方々、また、活動の担い手が緩やかな連携を取ることが出来ます。

また、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）



浅野勝利委員



は組織ありきではなく、地域の中で役割を持っている人によって構成されるものではありません。地域の中で活動に関心があり、熱意がある人たちのボランティア活動です。

その活動を、ちょっとこれを手伝って」というところから繋がりを作り広げていき、その活動を通じて多様な地域住民を巻き込んだ活動に育ていくことが求められます。活動自体は自由に楽しんで取り組めることが必要です。そうやって活動をしてみて、みんなが一つの方向を向き始めたら、そこで初めてリーダーを決めて組織化をしていくことが求められます。

つまり、組織や予算から活動が始まるのではなく、地域の課題に対して、自分たちは何ができるのだろうか、というところからスタートすることが必要となります。

そして、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の活動を通じて、福祉を身近にすること、これでもやれる、いつでもやれる、ということを広めることが求められます。

#### （４）学校と地域とのつながりについて

福祉や人権の学習については、学校の活動全体を通じて進めていくことになるため、子どもたちが地域の人に学んだり、地域に出て行って学んだりすることはとても大事です。

学校は地域の中の学校であり、子どもたちは地域の大切な宝ものです。

学校が困ったなと思った時に地域に助けてもらい、地域でこんなことがあるけどどうですか」と提案をされるような良い関係づくりが必要です。ただそれにはお互いに無理のない範囲で行うことが求められます。

地域と学校が相互協力していくことが求められ、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の取り組みの中で、学校や幼稚園との連携や協働について話し合っていくことが大事になります。

学校は、カリキュラムや目標で動いているため、それと切り離して活動していくのではなく、



高木健二委員



中嶋るり子委員

く、教育の延長上に地域の活動を結び付けていくことが求められます。その上で、地域の活動に子どもたちが参加するためには、学校とともに保護者の理解が必要となります。

（５）小地域福祉活動の担い手について  
小地域福祉活動の担い手を募ってもなかなか集まらないのが現状です。

そのため、仲のいい人たちに「こういうことを一緒にやろうよ」と誘うなどしながら、人と人との繋がりで巻き込んでいくことが求められます。

その際に、「大切なことだからやりましょうよ」と誘ってもなかなか人は集まりません。具体的にこういったものという活動を紹介し、そこに参加を募っていくような声掛けが望まれます。

他人のために何かをしなくてはいけないということではなく、自分自身が楽しむことができるような取り組みが必要です。

つまり、地域住民に地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の運営論から入るのではなく、活動の内容について紹介していくことで理解がされやすいということとです。また、活動についても堅苦しいとそれで終わってしまったため、いかに楽しく活動をすることができるとかの配慮が必要となります。

（６）５年後１０年後を見据えた活動計画の必要性について

地域の様々な問題についてどう取り組もうかということとは、とても難しく感じられますが、地域住民がその地域にこれからも住み続けていきたいと思ったりときには、「こんなことがあればいいな」「こんな地域活動がしたい」という地域課題（ニーズ）が浮かび上がってきます。



板倉幸夫委員

そうした中で、５年後１０年後を見据えて安全安心の暮らしやすい地域にしていけるには、どんな取り組みが必要なのかを多くの地域住民を巻き込んで協議し、共通認識を持つことが大切です。それができるようになれば、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の活動の理解が図られ、活動に協力してくれる住民も増えると考えられます。

その共通認識を言葉にし、どんな地域にしていきたいかのイメージをキャッチコピーなどで表し、多くの地域住民の理解を促すことも一つの方法です。

（７）菊川市社会福祉協議会に求められる役割について  
菊川市社会福祉協議会に求められる役割は、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）とはどういふものなのかと関係団体や関係機関、地域住民に見えるような形で伝えていくことです。

広報紙等に地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の活動を掲載し、活動の周知を図ることが求められます。

また、菊川市社会福祉協議会は、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の事務局的存在としての機能を担い、様々な団体や機関とのコーディネートを行うことが求められます。

つまり、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の活動に菊川市社会福祉協議会として関わりを持ち、相互理解を深めていくための働きかけを行うこととなります。

そして、地域福祉推進基礎組織（地区社会福祉協議会）の活動を支援していくために、情報提供や他地区との情報交換の場の設定をしたり、活動資金の助成を行ったりします。

以上がまとめられた内容となります。

委員として協力いただきました様々な団体等の代表の方々御協力ありがとうございました。今後の地域福祉推進の方針とさせていただきます。



二俣美保子委員

## 笑顔、輝いています ―第19回―

### ● 私の人生今が輝く熟年期!これからも人生楽しみます。 ●

#### Q. どのようなボランティア活動をされていますか?

A. 放課後子ども教室推進事業「南の風教室」と「南山これから倶楽部」の活動を行なっています。

「南の風教室」は教育委員会の主管事業で「地域で子どもを守る安全な居場所づくり」で始まった事業です。毎週水曜日午後3時から小学校1年生から6年生までの60名が登録し、昔の遊びや軽スポーツ、地域の伝統行事などを行ない子ども達の明るく元気な声が聞こえてきます。

「南山これから倶楽部」は、みなみやまコミュニティセンターが出来て、自分達の地域の生活は自分達で作るということで立ち上げました。現在活動しているのが、前向きの会、お互い様の会、あさつゆの会、南山昭和の集いなどです。呼びかけに応じ自主的に出来たグループはそば打ちの会、麻雀倶楽部、椎茸倶楽部、蒟蒻倶楽部、実の成る会など気のあった者同志のグループで活動しています。

#### Q. ボランティアを始めたきっかけは何ですか?

A. 私は子どもが大好きです。超少子高齢化社会の中で、今自分に何が出来るかを自問自答した時、身近な子ども達を守ることしかないと思い、毎朝信号機のない横断歩道に立ち、幼、小、中、高校生合わせて70名の7グループに旗振り街頭指導しています。子ども達からの「ありがとう」のたった5文字ですがたくさんの元気をもらいました。10年目になりますが毎朝続けています。

「南山これから倶楽部」は町内会の老人クラブが無くなり、自分達の生活は自分達でつくるということで、倶楽部の組織をつくり活動しています。それぞれの倶楽部も皆さんそれぞれ楽しんで活動していますよ。人生を期別にするならもう少し肩身の狭い思いをさせない奮起、希望、まだまだこれからと生き活きた毎日を自助努力するグループづくりを考え、「これから倶楽部」としました。

#### Q. これからの活動予定や抱負をお聞かせください。

A. 超少子高齢化社会になり、若者に対しての負担軽減を、さらに高齢者でやれることはやる心身の老化防止 と予防策を考慮し、私は人生の期別予想をたてました。

幼少期(就学前)0～6歳

青年期(社会成人 結婚独立)19～34歳

実年期(社会奉仕 役務提供)66～75歳

高齢期(相談教授 心身のゆとり)87～95歳

少年期(義務教育と成人基礎)7～18歳

壮年期(社会成人 社会主柱)35～65歳

熟年期(自助努力 自立心)76～86歳

悠悠期(保守保身 ゆとり)96歳以上

個人差など考えず、目標として定めた私的な人生構造の期別化と私的主観説明です。私は特に実年期以降のあり方について次の事を提言したいです。食、感、人、動を特に重要視してほしいと考えます。食は(一般食、健康食、専門食)、感は(体感、感性、感情)、人は(会う、話す、存在感)、動は(体を動かす、誘い合う)と日常気軽に取り組める範囲の、ちょっとした勇気と自助努力によって高齢は避けられませんが老人にはなりません。生涯現役意識を持ちましょう。

山下 <sup>つとむ</sup> 力さん(東河東)





# NPO法人 茶の間

法人名	NPO法人茶の間
施設名	茶の間
事業内容	デイサービス
開業日	平成22年9月1日
サービス提供時間	9:00～16:05
営業日	月曜日～金曜日（祝日は休み）
一日の利用定員	8名
所在地	菊川市本所500-17
問合せ先	0537-29-5291
茶の間代表者	久保田幸枝



夫婦とも高校を卒業してから永年働いていた会社を定年退職したので、これを機会に第二の人生として介護の仕事を選びました。自宅を一部増築し、開放しただけの小規模なデイサービスです。「お友達の家に来ているような感じがする」「ゆっくりできて、なんでも言えてうれしい」「皆同じような思いをされているので話が合う」と言われます。入浴はご家庭にあるお風呂と同じで個浴です。食事は地場の野菜を使い家庭料理を提供しています。温かいものは温かく、冷たいものは冷たくが基本、年中行事に季節感を盛り込みます。最近では「七草粥」「鏡開きのお汁粉」が大好評で「幸せ」と言って喜ばれました。みんなで食卓を囲み家族のような会話をしながら食べています。おやつも手作りにこだわっています。

入浴時の衣服の着脱や洗身は時間がかかっても自分でやることはやってもらっています。機能訓練は看護師の指導で手足の体操、嚥下体操等をやり、脳トレは般若心経・早口言葉を読んだり、間違い探しや、パズル等をやります。誤嚥にならないよう、食後の口腔ケアには力を入れています。午後は利用者さんの体調と天気、メンバーを見て外出先を決めます。歩行訓練と四季の変化を感じるにより、脳機能の維持と活性化を図るため自然の中に出ます。外出できない日はレクリエーションにゲーム、ジェスチャー、紙芝居、本の朗読やギターに合わせて歌を歌ったりしています。この冬休みから小中学生のボランティアの受け入れを始めました。子どもさん達との交流を皆とても喜びました。今から春休みを楽しみにしています。



▲利用者の作品



▲クリスマス会の楽しいひととき



▲利用者と子ども達とのふれあい

## ご寄付ありがとうございました (12月～1月)

心温まる浄財および物品は、社会福祉事業に有効活用させていただきます。

浄財寄付 横地コミュニティ協議会 様  
社会福祉協力会会員 様  
静岡県大衆歌謡連盟 様  
タオル寄贈 静岡県退職公務員連盟小笠支部 様  
車両寄贈 静岡福祉協議会 様



## そんだもんで東(小笠東地区)

「地の神様で地域づくり」 毎年12月15日に、この辺りの風習でまつられる地の神様を56名の方が参加されて、くすりんで一緒に作りました。顔の見える地域を目指した、世代間交流事業であるとともに、自分の分ともう一つ作って、地域のひとり暮らしのお年寄りに民生委員児童委員と地域サポーターが、お声かけしながら配布されました。

## みなみやまの会 (小笠南地区)

「家事援助サービス」 小笠南地区の困りごとを、地区の中で解決する仕組みづくりの一環として始められました。主に、お年を召して買い物や軽微な修繕等に困ったりした際に、1回100円で代行します。



## 横地いきいきサロン(横地地区)

横地地区の高齢者を対象に、民生委員児童委員、七重会、健康づくり推進委員、交通指導隊が中心となり、毎年サロンを開催しています。小笠高校生徒の皆さんと横地地区地域サポーターの皆さんも、当日の運営のお手伝いをしています。健康体操や高校生による紙芝居などで楽しんだ後は、七重会の皆さんが作るおいしい手作り弁当をいただきながら、おしゃべりに花が咲きます。



# ボランティアの広場

## ボランティアの輪・和・話(三つのわ)



### 「炎衆北斗」

炎衆北斗は、ダンスを通してボランティア活動を行う、小中学生のグループです。よさこいダンスの演舞を中心に、各種イベントへの参加やデイスサービス訪問などを行い、笑顔と元気をプレゼントしています。デイスサービス訪問では、ダンスの披露だけでなく、お年寄りとの会話や遊びなどの交流時間も大切にしています。社会福祉施設訪問では、入所者の方々と一緒に踊ることもあります。また、昨年から「菊川茶PR隊」に任命されて、地元菊川のための活動も行っています。メンバーが小中学生のため、活動は週末か長期の休み中に限られますが、声をかけていただければ、できる限り参加するようにしています。

※新入団員の募集もしています。 連絡先 080-5169-1492(永田)

## 「ボランティアグループから～おんがくの広場～」

平成25年度の「おんがくの広場」を下記のように実施します。音楽を通した楽しい時間をみんなで作り上げましょう。

- 日 時 4月13日、6月8日、8月10日、10月12日、12月14日  
※偶数月の第2土曜日13:30～14:30
- 会 場 特別養護老人ホーム喜久の園内 地域交流センター「うらら」  
仲島2-4-16 ※建物東側の駐車場をご利用ください
- 対 象 子どもから大人まで どなたでも
- 主 催 おんがくの広場（ボランティアグループ）



## ご加入ください「平成25年度ボランティア活動保険」

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償します。

加入対象者 ボランティア個人又はボランティアグループ、団体（NPO法人他）

対象となるボランティア活動

自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動

※有償の活動、学校管理下の活動、自助団体（自治会、PTA、老人クラブ）の運営・親睦のための活動、海難救助、山焼き等の活動は対象外です。

補償の対象 ボランティア活動中に負った不慮の事故によるケガ  
ボランティア活動中の偶然な事故による対人・対物の賠償責任

保 険 料 基本タイプ：A280円、B420円  
天災タイプ：A490円、B720円

補 償 期 間 平成25年4月1日以降、加入日翌日から平成26年3月31日まで

問合せ・申込先 ボランティアセンター ☎35-6385



## 求むボランティアさん

問合せ先  
ボランティアセンター ☎35-6385

活動内容 いきいきサロン利用者の送迎活動

活動日時 月・水・金(月2～3回)

募集対象 一般(普通運転免許をお持ちの方)

※基本的には、ボランティアグループの活動に参加します。



活動内容 高齢者・障がい者の囲碁の相手

日 時 不定期

活 動 先 高齢者施設等

募集対象 一般



## ご利用ください～菊川市社会福祉協議会ボランティアセンター土日開所～

3月のボランティアセンター土日開所日は、9日(土)、17日(日)です。

ボランティア相談 月～金曜日 8:15～17:00 プラザけやき ☎35-6385

## 参加者募集 各種事業

### 社会福祉施設と地域住民による地域づくりセミナー開催のお知らせ

【開催目的】 地域と市内の社会福祉法人(施設)が協力して、世代を超えた隣近所の繋がりを防災・減災活動を通じた再構築を図ることにより、地域における「孤立・無縁」を防ぐことを目的に本セミナーを開催します。

【開催日】 平成25年3月4日(月) 14:00～16:00

【会場】 小笠東地区コミュニティセンター「くすりん」 研修室

【参加対象】 関心のある市民のみならず、市内社会福祉施設職員、民生委員児童委員他(定員70名程度)

【内容】

講演 ～地域と社会福祉施設とのつながりが「孤立・無縁」を防ぐ～

講師 佐々木 薫 氏

(福)仙台市社会事業協会 仙台楽生園ユニット施設群 総括施設長

(社会福祉士、介護支援専門員、認知症介護指導者、保育士)

東日本大震災を受け、全国経営協及び日本認知症グループホーム協会の現地対策本部長として、全国の介護職員やボランティアの受け入れ調整を行われ、また自身の施設も被災したが、発災直後は避難してきた多くの地域住民を受け入れる等被災者支援に尽力されました。

【申込締切】 2月26日(火)までにお申し込みください。

※定員を超えた場合は、締切前でも申込受付を終了させていただきます。



### 社協だより広報モニター委員 募集します 子育て支援センター非常勤職員

菊川市社会福祉協議会が月1回発行している広報「社協だより」の広報活動に御意見、御提言をいただく広報モニター委員会の委員を募集します。この委員会は、一般公募の方、地域の住民団体から推薦された方からなる11人以内で構成されます。

【応募資格】

- ・年齢20歳以上の方
- ・本市に居住されている方
- ・平日に開催される会議に出席できる方
- ・本会広報活動に理解のある方

【任期】

- ・平成25年4月1日～平成26年3月31日

【募集人数】

- ・11人

【応募方法】

- ・菊川市社会福祉協議会に設置してある申込用紙、または菊川市社会福祉協議会ホームページ「菊川市社会福祉協議会広報モニター申込書」に必要事項を記入して申し込んでください。

【応募先】

- ・菊川市社会福祉協議会  
(菊川市総合保健福祉センタープラザけやき内)

【申込期限】

- ・平成25年3月22日(金)

【問合せ先】

菊川市社会福祉協議会 地域福祉係  
☎35-3724 FAX35-3202

●非常勤職員 1名

【雇用期間】 平成25年4月1日～平成26年3月31日

【勤務地】 おがさ子育て支援センター「ひまわり」

【資格】 保育士資格を有する者

【勤務日】 火曜日～土曜日(日・月休み)

【勤務時間】 8時15分～17時00分

【給与】 菊川市社会福祉協議会非常勤職員給与規程による

【申込期間】 平成25年2月25日(月)～平成25年3月8日(金)

【提出書類】 履歴書(写真貼付)、資格証明書又は資格取得見込証明書

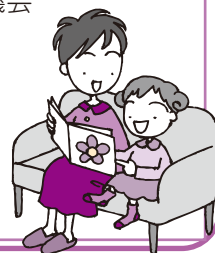
【その他】 採用試験については、面接を予定しています。

詳細については下記担当までお問合せください。

【申込、問合せ先】 菊川市社会福祉協議会

総務経理係 落合

☎35-3724



## 相談窓口

### 福祉総合相談

【日時】 月～金曜日 8:15～17:00

【会場】 プラザけやき

### 心配ごと相談

【日時】 3月1日(金) 9:00～12:00

3月15日(金) 13:00～16:00

【会場】 プラザけやき

【日時】 3月5日(火) 13:00～16:00

3月21日(木) 9:00～12:00

【会場】 菊川市役所 小笠支所

### 結婚相談

【日時】 3月7日(木) 18:00～21:00

(受付20:00まで) ※女性のための相談日

3月17日(日) 9:00～12:00

(受付11:00まで)

【会場】 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

### ひきこもり、不登校無料相談

【日時】 3月4日(月) 13:00～16:00

3月18日(月) 13:00～16:00

【会場】 菊川児童館(プラザけやき2階)

【予約電話】 090-1476-3233